

## 竹富島の暮らし

竹富島の周辺の海は、石西礁湖と云われる美しいサンゴ礁に囲まれ、一九七二年に国立公園に指定されているほか、集落が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

美しい自然環境と文化景観で知られる竹富島ですが、種子取祭が一九七七年に国の重要無形民俗文化財に、八重山上布や八重山ミンサーの染織類が一九八九年に国の伝統的工芸品に指定されています。祭祀や儀式から育まれた情緒豊かな民俗芸能や手工芸が今もなお暮らしのなかにある竹富島は、歌謡や芸能、工芸品製作の後継者の育成に努めており、環境保全と伝統文化の保存継承を地域づくりの柱にしています。

竹富島では、一年間に数多くの祭祀を執り行い、祭祀の中心となるのが聖地である御嶽です。島の神々を敬う精神が自然環境保全、伝統文化の継承に結びついていますので、竹富島でお過ごしの際は次のルールをお守りください。

1. 竹富島には多くの観光客が訪れます。自分で出したゴミはお持ち帰りください
2. 家の石垣から内側へは入らないでください。島民のプライベート空間です。
3. 集落内は島民の日常生活の場です。水着や半裸で歩かないでください。
4. 宿泊施設以外での宿泊を禁じています。キャンプや野宿はできません
5. 花・草・貝・魚・蝶・・・そっとそのまま眺めてください。みんな命はひとつです。
6. 御嶽（オン）は神聖な場所です。むやみに立ち入らず、畏敬の念を忘れずに。